

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 29 日

茨城県知事 大井川 和彦殿



提出者

茨城県土浦市神立町650番地  
日立建機株式会社  
執行役副社長 田淵道文  
生産・調達本部長

電話番号 029-832-7275

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日立建機株式会社 常陸那珂臨港工場
事業場の所在地	茨城県ひたちなか市長砂 163-10
計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	2621（建設機械・鉱山機械製造業）
②事業の規模	製造品等売上高 1,314 億円
③従業員数	984 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

(日本工業規格 A 列 4 番)



自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	別紙7 表3の通り		

②計画	【目標】		別紙 7 表 4 の通り
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の種類	主たる構内排出元	中間処理業者	再資源化または再資源業者
汚泥	排水処理場 脱水ケーキ	→ セメント原料 焼成	セメント
	塗装 塗料スラッジ	→ 混練 (セメント原料として再生)	→ セメント会社へ
	清掃汚泥	→ 脱水/遠心分離等	水 → 公共下水道
		残渣(汚泥)	→ セメント会社へ (セメント原料として再生)
廃油	製造・開発・試験 廃油 不凍液 廃塗料	→ 焼却炉助燃材に使用	助燃材
	製造 含油水 (水溶性切削液)	→ 油水分離	水 → 公共下水道
		油	→ 再生油
		残渣(汚泥)	→ セメント会社へ (セメント原料として再生)
	排水処理場 スカム(油泥)	→ 油水分離等	水 → 公共下水道
		油	→ 再生油
廃プラスチック類	各職場 廃プラ (混合含む) OA機器 プリント基板等 油圧ホース	→ 破碎/選別	金属類 → 金属関連業者へ (金属として再生)
		廃プラスチック シュレッターダスト	→ 精錬所へ (燃料及び溶融化による路盤材再生)
	荷受・組立 軟質系プラスチック (梱包材 /マスキング材等)	→ 破碎/RPF製造	固形燃料(RPF)として再生
	各職場	→ 固形燃料(RPF)	固形燃料(RPF)として再生
廃酸/廃アルカリ	各職場 薬品類	→ 中和/油水分離等	水 → 公共下水道
		残渣(汚泥)	→ 埋立もしくはセメント会社へ (セメント原料として再生)
金属くず	各職場 乾電池	→ 破碎/選別	
	蛍光灯	金属	→ 金属関連業者へ (金属として再生)
	水銀灯	ガラス	→ ガラス関連業者へ (ガラスとして再生)
	その他金属類	その他残渣	→ セメント会社へ (セメント原料として再生)
ガラスくず ・陶磁器くず	製缶 土砂類 (溶接スパッタ等)	→ 破碎	
	各職場 ガラス・陶磁器 砥石くず	残渣	→ 精錬所へ (燃料及び溶融化による路盤材再生)
木くず 土浦工場 霞ヶ浦工場 龍ヶ崎工場	荷受・発送場 廃木製パレット 廃梱包材	→ 破碎/磁気選別/選別	金属 → 金属関連業者へ (金属として再生)
		木材チップ	→ 集材製造業者へ (集材材として再生)
		おがくず	→ 畜産農家、RDFへ
	常陸那珂工場 常陸那珂臨港工場	→ 破碎/磁気選別/選別 >木材チップ< RPF製造 バイオマス発電燃料 ボイラ燃料 >金属類<	固形燃料(RPF)として再生 バイオマス発電の燃料として供給 → 製紙会社ボイラ燃料として供給 → 金属関連業者へ (金属として再生)

注) 混合廃棄物については代表分類で表す。



(第2面) 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
【前年度実績】								
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	金属くず	ガラスくず陶磁器くず及びコンクリートくず	木くず	総排出量
	排出量	217 t	397 t	126 t	4 t	91 t	641 t	1476 t

【目標】								
①計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	金属くず	ガラスくず陶磁器くず及びコンクリートくず	木くず	総排出量
		195 t	357 t	113 t	3 t	81 t	576 t	1325 t
	排出量							



## 廃棄物分別表 (ひたちなか地区)

2021.06【確認】

【前 分 類 目】		具 体 例	出 先				出 し か た
大 中 分類項目	小 分類項目		回収容器等	紙くず	(なか)	(随添)	
1	217	126	91	59	641	事務棟廃棄物置場	紙紐で束ねる
2	397	普通紙	古紙回収ボックス			事務棟廃棄物置場	紙紐で束ねる
3	3	(秘)文書 (溶解文書)	専用ダンボール (シールドバック)	紙くず		事務棟廃棄物置場	(社外秘)は各部署で指定すること 内線番号を記入すること
4	4	段ボール	ダンボールボックス	53	0	指定容器	折りたたむこと。雨にぬらさない 発泡スチロール、テープ、荷札、ビニールは取除く
5	5	業者引取品	自販機備付容器		各自販機	各自販機	つぶして返却する
6	6	RF再資源化可燃?	売店備付容器		売店前	売店前	工場外から持ち込んだものは持ち帰る
7	7	RF再資源化可燃?	部門指定		各納入場所	各納入場所	折りたたむ
8	8	もえるごみ (RPF化不可)	専用ボックス	53.1		指定場所	透明のポリ袋に入れ部署名を記入して出す 金属、木くず、塩ビ、生ゴミ等の混入を禁止 混入していれば可燃ゴミへ出す
9	9	もえるごみ (RPF化不可)	(青)ダストボックス			指定場所	透明のポリ袋に入れ部署名を記入して出す
10	10	木くず				廃棄物置場	箱物は可能なかぎり つぶして出す
11	11	ガラス・陶磁器くず	(緑)ダストボックス			廃棄物置場	中を空にして廃棄
12	12	磁石くず類	(青)ダストボックス			廃棄物置場	割らない様ケース等に入れる
13	13	電光灯類	各回収ボックス			廃棄物置場	割らない様ケース等に入れる
14	14	使い捨て電池	乾電池ボックス			廃棄物置場	
15	15	充電式				廃棄物置場	
16	16	土砂類	(茶)ダストボックス			廃棄物置場	
17	17	汚泥類	ドラム缶			廃油置場	オープンドラムに入れる
18	18	廃油類	専用容器			廃油置場	
19	19	廃プラスチック類 (RPF化不可)	ドラム缶			廃油置場	ビニール袋に入れる
20	20	小型家電	専用容器			廃油置場	ビニール袋に入れる
21	21	金	(鉄)ダストボックス			廃棄物置場	鉄屑を抜く
22	22	銅	(赤)ダストボックス			廃棄物置場	減容処理済の固定資産
23	23	鉄くず	スクラップ置場			廃棄物置場	600mm×900mm以内に切断 可能な限り分解し分別廃棄 注3により排出する
24	24	非鉄くず	スクラップ置場			廃棄物置場	指定容器
25	25	缶	専用容器			廃棄物置場	処分業者変更15.11.20～(※)雨水対策要 火災発生による対策措置(※10)
26	26	缶	専用容器			廃棄物置場	液切りを十分に行う
27	27	缶	専用容器			廃棄物置場	液切りを十分にする
28	28	缶	専用容器			廃棄物置場	
29	29	缶	専用容器			廃棄物置場	
30	30	缶	専用容器			廃棄物置場	
31	31	缶	専用容器			廃棄物置場	
32	32	缶	専用容器			廃棄物置場	
33	33	缶	専用容器			廃棄物置場	
34	34	缶	専用容器			廃棄物置場	
35	35	缶	専用容器			廃棄物置場	
36	36	缶	専用容器			廃棄物置場	
37	37	缶	専用容器			廃棄物置場	
38	38	缶	専用容器			廃棄物置場	
39	39	缶	専用容器			廃棄物置場	
40	40	缶	専用容器			廃棄物置場	
41	41	缶	専用容器			廃棄物置場	
42	42	缶	専用容器			廃棄物置場	
43	43	缶	専用容器			廃棄物置場	
44	44	缶	専用容器			廃棄物置場	
45	45	缶	専用容器			廃棄物置場	
46	46	缶	専用容器			廃棄物置場	
47	47	缶	専用容器			廃棄物置場	
48	48	缶	専用容器			廃棄物置場	
49	49	缶	専用容器			廃棄物置場	
50	50	缶	専用容器			廃棄物置場	
51	51	缶	専用容器			廃棄物置場	
52	52	缶	専用容器			廃棄物置場	
53	53	缶	専用容器			廃棄物置場	
54	54	缶	専用容器			廃棄物置場	
55	55	缶	専用容器			廃棄物置場	
56	56	缶	専用容器			廃棄物置場	
57	57	缶	専用容器			廃棄物置場	
58	58	缶	専用容器			廃棄物置場	
59	59	缶	専用容器			廃棄物置場	
60	60	缶	専用容器			廃棄物置場	
61	61	缶	専用容器			廃棄物置場	
62	62	缶	専用容器			廃棄物置場	
63	63	缶	専用容器			廃棄物置場	
64	64	缶	専用容器			廃棄物置場	
65	65	缶	専用容器			廃棄物置場	
66	66	缶	専用容器			廃棄物置場	
67	67	缶	専用容器			廃棄物置場	
68	68	缶	専用容器			廃棄物置場	
69	69	缶	専用容器			廃棄物置場	
70	70	缶	専用容器			廃棄物置場	
71	71	缶	専用容器			廃棄物置場	
72	72	缶	専用容器			廃棄物置場	
73	73	缶	専用容器			廃棄物置場	
74	74	缶	専用容器			廃棄物置場	
75	75	缶	専用容器			廃棄物置場	
76	76	缶	専用容器			廃棄物置場	
77	77	缶	専用容器			廃棄物置場	
78	78	缶	専用容器			廃棄物置場	
79	79	缶	専用容器			廃棄物置場	
80	80	缶	専用容器			廃棄物置場	
81	81	缶	専用容器			廃棄物置場	
82	82	缶	専用容器			廃棄物置場	
83	83	缶	専用容器			廃棄物置場	
84	84	缶	専用容器			廃棄物置場	
85	85	缶	専用容器			廃棄物置場	
86	86	缶	専用容器			廃棄物置場	
87	87	缶	専用容器			廃棄物置場	
88	88	缶	専用容器			廃棄物置場	
89	89	缶	専用容器			廃棄物置場	
90	90	缶	専用容器			廃棄物置場	
91	91	缶	専用容器			廃棄物置場	
92	92	缶	専用容器			廃棄物置場	
93	93	缶	専用容器			廃棄物置場	
94	94	缶	専用容器			廃棄物置場	
95	95	缶	専用容器			廃棄物置場	
96	96	缶	専用容器			廃棄物置場	
97	97	缶	専用容器			廃棄物置場	
98	98	缶	専用容器			廃棄物置場	
99	99	缶	専用容器			廃棄物置場	
100	100	缶	専用容器			廃棄物置場	





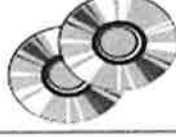





- 注 1. 古紙、(秘)文書は回収指定日までには部門回収所から指定回収所へ持ち込んでください。
2. スクラップの搬出は、専用スクラップボックス(600mm×900mm)に切って排出して下さい。
3. 粗大スクラップは出来る限り切断(600mm×900mm)して下さい。切断出来ないものは、粗大スクラップ処理申請書を、排出日の1週間前までに台費場まで提出して下さい。
4. 固定資産を処分する時は、必ず固定資産減価償却費償還済を添付の上、排出日の1週間前までに固定資産減価償却申請書を台費場まで提出して下さい。(現状のものを除くこと)
5. 上記以外の廃棄物は大量に排出する場合は環境推進室(21601)に問い合わせして下さい。
6. 各項目とも可能な範囲の分解、分別をお願いします。紙類、ポリ袋は工具室(内3218)より入手してください。
7. 「アキュームレータ」の廃棄方法：別紙1により、エコ産業 廃棄物担当者 内線21603へ連絡の上持参下さい。
8. ショットボルトの処分業者変更に伴い排出容器の変更、溶接ワイヤ容器からオープンドラムに変更：環境推進室15-14参照※雨水侵入防止の養生実施下さい。
9. ショットボルト処理フィルタ(金属製タイプ)は、雨水が侵入しない様オープンドラムに入れ蓋をして搬出下さい。※容器が準備されていない工場は、問合せ環境推進室(内線21602)まで



# R P F 再資源可燃ごみ

 廃棄物管理分科会  
2018.7.18






## 廃プラスチック類 非塩ビ系の物に限る

				
ウレタンスポンジ	エンドキャップ	スプレー缶 キャップ	・ガムテープ ・マスキングテープ	・CD ・CDケース
				
発泡スチロール	緩衝剤 発泡スチロール	プラスチック ケース類	結束バンド	・カップ麺容器 ・お菓子の袋





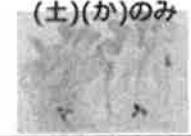

容器包装リサイクル法対象品の出し方注意

容器内を軽くすすぐ、くずを叩いて落とすなど、目で見ても汚れがわからないこと

				
宅配便伝票など のカーボン紙	複写伝票などの ノーカボン紙	レシートやFAX 用紙の感熱紙	写真	窓付き封筒
				
物流シート	ラミネートされ た書類等	デカルなどの シールの裏紙	マスキング紙	油付・塗料付 段ボール

・マスキング材、油付・塗料付段ボールは乾燥した物で臭いが気にならないこと

・ラミネートされた社外秘以上の文書は切り刻んでください

				
軍手	手のひらコート 手袋	木綿の手袋	荷札針金・ビ ニール付	

・軍手、手袋類はシンナーの臭いがしないこと

・荷札の芯線0.2mm以下のこと、それ以上は取り外すこと

混ぜればごみ！分ければ資源！

みんなで守ろう地球の未来

分別基準の問合せ先 環境推進室(内線21601)



表 3

(第4面)産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
【前年度実績】								
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラスくず陶磁器くず及びコンクリートくず	木くず	総排出量	
全処理委託量	217 t	397 t	126 t	4 t	91 t	641 t	1476 t	
①現状	優良認定処理業者への処理委託量	147 t	49 t	0 t	24 t	641 t	1170 t	
	再生利用業者への処理委託量	70 t	88 t	77 t	67 t	0 t	306 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	

表 4

(第5面)産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
【目標】								
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラスくず陶磁器くず及びコンクリートくず	木くず	総排出量	
全処理委託量	195 t	357 t	113 t	3 t	81 t	576 t	1325 t	
②計画	優良認定処理業者への処理委託量	132 t	44 t	0 t	22 t	577 t	1053 t	
	再生利用業者への処理委託量	63 t	79 t	69 t	60 t	0 t	275 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	

